

平成24年度補正予算による地域医療再生基金について

資料1

これまでの経緯

- 21年度補正予算において地域の医師確保、救急医療の確保など、地域における医療課題の解決を図るため、都道府県に基金を設置。従来の病院毎(点)への支援ではなく、都道府県が策定する「地域医療再生計画」に基づく対象地域全体(面)への支援。
 - 対象地域:二次医療圏を基本とする地域 ⇒ 安芸保健医療圏、中央・高幡保健医療圏
 - 計画期間:平成25年度までの5年間
 - 予算総額:3,100億円(100億円×10地域、25億円×84地域) ⇒ 25億円×2地域
- 22年度補正予算において、都道府県単位(三次医療圏)の広域医療圏における医療提供体制の課題を解決するために基金を拡充。
 - 対象地域:都道府県単位(三次医療圏) ⇒ 高知県全域
 - 計画期間:平成25年度までの4年間
 - 予算総額:2,100億円(15億円×52地域、加算額1,320億円) ⇒ 17.95億円

平成24年度補正予算による基金

【目的】

これまでの地域医療再生計画に基づく事業を遂行していく中で、前計画策定時(平成22年度)以降に生じた状況変化に対応するために生じる予算の不足を補うために基金を拡充

【対象事業】

25年度までに開始した事業

<事業例>

- ・災害時の医療の確保事業
- ・医師確保事業
- ・在宅医療推進事業

【計画期間】

27年度までの延長可能

(既存計画を含め、26年度以降の事業延長については厚生労働大臣の承認が必要)

【交付額等】

予算総額500億円

<各自治体>

- ・15億以内で計画を策定
- ・原則として、医師確保と在宅医療で5億以内
- ・最低配分額は設定しない

【今後のスケジュール】

4月19日～5月18日

計画案意見募集

4月26日 医療従事者確保推進部会

5月23日 医療審議会

5月31日 計画案提出締め切り

7月2,3日 有識者会議(国)

8月 交付決定

9月 県補正予算要求

地域医療再生基金執行計画（H21補正分）

	【当初計画】	【基金執行状況と主な成果】	【25年度計画案】
安芸計画 25 + 9 億円	<p>★安芸保健医療圏連携事業 (活性化基金 1億円)</p> <p>★病院GPを含むキャリア養成拠点整備事業 (再生基金 23.48億円)</p> <p>★高知医療再生機構運営事業 (再生基金 1.52億円) (活性化基金 9億円)</p>	<p>《再生基金執行額》 1,279,799千円 (37.6%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県立あき総合病院整備支援事業 (継) ● 高知医療再生機構運営事業 (継) ● 高知地域医療支援センター運営事業 (継) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 県立あき総合病院整備支援事業 (1,148,000千円) ● 高知医療再生機構運営事業 (517,283千円) ● 高知地域医療支援センター運営事業 (8,969千円)
中央・高幡計画 59 億円 25 億円	<p>★地域医療教育研修拠点施設整備支援事業 (10億円)</p> <p>《再生基金 15億円》</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 救急医療の確保 (723,604千円) ★ 小児・周産期の確保 (113,456千円) ★ 在宅医療提供体制の強化 (612,940千円) ★ 高知医療センター精神科病棟整備事業 (50,000千円) 	<ul style="list-style-type: none"> ● レジデントハウス (南風) 整備支援事業 (継) <p>《再生基金執行額》 905,099千円 (60%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ドクヘリ基地病院へのヘリポート整備 (終) ● 医療施設の耐震化 (継) ● 小児救急トリアージ看護師の配置 (継) ● 中央西地域包括ケアシステムの構築支援 (継) ● 高知医療センターへの精神科病棟整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● レジデントハウス (南風) 整備支援事業 (117,435千円) <p>★救急医療確保事業 (403,170千円) 拡</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 救急医療機関等 (災害拠点病院等) の設備整備 <p>★小児・周産期確保事業 (75,246千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基幹医療機関の施設整備 <p>★在宅医療強化事業 (137,497千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多職種連携体制の構築 ● 都市型と中山間での医療連携モデルの検討

【21年度補正予算計画】

災害対策に充当

地域医療再生基金執行計画（H22補正分）

【22年度補正予算計画】17.95億円

県全域計画 17.95億円

【当初計画】

《再生基金 17.95億円》

- ① 医師確保対策の推進 (450,048千円)
- ② 救急医療の確保・充実 (174,779千円)
- ③ 災害医療の充実 (243,867千円)
- ④ がん医療の充実 (510,902千円)
- ⑤ 周産期医療の充実 (73,635千円)
- ⑥ CKD対策の充実 (96,000千円)
- ⑦ 交付金の減額措置 (237,766千円)
- ⑧ 医療安全管理強化事業 (8,004千円)

【これまでの成果】

《再生基金執行額
6.3億円 35.1%》

- 短期的医師確保事業 (継)
- 小児救急輪番病院勤務医師に対する支援 (継)
- 高知大学医学部附属病院へのヘリポート設置 (26年度完成)
- 幡多けんみん病院にMRI導入
- 医療センターにNICUを整備 (25年度)
- 県民への普及啓発 (継)
- CKD対策連絡協議会設置 (継)
- 院内感染対策の講習会の開催 (継)

【25年度計画案】

★ 医師確保対策の推進 (186,822千円)
● 県外赴任医師勧誘・支援事業 など

★ 救急医療の確保・充実 (149,629千円)
● ICTを活用した傷病者受け入れシステムの構築 など

★ 災害医療の充実 (541,569千円)
● SCU資機材整備
● 医療機関の施設・設備整備

★ がん医療の充実 (430,000千円)
● 幡多けんみん、日赤にリニアック整備

★ 周産期医療の充実 (40,586千円)
● 高知大学にNICU整備

★ CKD対策の充実 (14,148千円)

★ 交付金の減額措置 (0千円)

★ 医療安全管理強化事業 (3,793千円)

新
災害対策に充當

地域医療再生基金執行計画（H25積み増し分）〈案〉

【24年度補正予算計画案】
15億円

県全域計画 15億円

【当初計画】

《再生基金 14.99億円》

- ① 医師確保対策の推進
(471,782千円)
(新規) 117,844千円
 - ② 災害医療の充実
(807,315千円)
(新規) 215,834千円
 - ③ 在宅医療の強化
(152,085千円)
(新規) 103,355千円
 - ④ 救急医療の確保・充実
(35,110千円)
 - ⑤ がん医療の充実
(32,500千円)
(新規) 32,500千円
- 計 1,498,792千円

【強化・拡充する取組】

【医師確保対策の推進】

- ① 高知医療再生機構（継）
(事業継続のための財源安定化を目的)
- ② 高知地域医療支援センター(継)
- ③ 精神科・病理医確保（新）
- ④ 薬剤師確保（新）

【災害医療の充実】

- ① 医療従事者確保（拡）
- ② 災害時医療救護体制（拡）

【在宅医療の強化】

- ① 医療従事者の育成（拡）
- ② 訪問看護事業の強化（拡）
- ③ 在宅医療連携拠点整備(拡)

【救急医療の確保・充実】

- ① 救急医療連携体制(継)

【がん医療の充実】

- ① がん診療連携体制(新)

【主な新規・拡充・継続事業】

- ★ 聖マリアンナ医科大寄附講座(継)
(40,000千円) ※再生機構事業
- ★ 高知大災害・救急医療学寄附講座(継)
(40,000千円) ※再生機構事業
- ★ 高知大地域精神医療寄附講座(新)
(62,500千円) ※県直轄事業
- ★ 高知大小児神経精神医学奨励金(新)
(6,432千円) ※県直轄事業

- ★ 災害支援ナース養成研修（新）
(2,031千円)
- ★ 総合防災拠点機能強化（新）
(99,445千円)
- ★ ICTを活用した医療護体制整備
(拡) (107,000千円)

- ★ 訪問看護の提供体制強化（新）
(32,537千円)
- ★ 圏域ごとの連携構築支援等（新）
(60,318千円)

- ★ 小児救急医療の確保（継）
・小児救急勤務医手当
・小児救急トリアージ担当看護師 等
(計35,110千円)

- ★ 胃がん検診車の導入（新）
(32,500千円)